

平成27年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年11月7日

上場会社名 株式会社音通 上場取引所 東  
 コード番号 7647 URL http://www.ontsu.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 岡村邦彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 仲川進 (TEL) 06-6372-9100  
 四半期報告書提出予定日 平成26年11月7日 配当支払開始予定日 平成26年12月8日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第2四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第2四半期	8,605	△0.5	82	△53.3	39	△66.0	△15	—
26年3月期第2四半期	8,650	△0.3	176	△28.2	115	△31.2	53	8.6

(注) 包括利益 27年3月期第2四半期 △40百万円( —%) 26年3月期第2四半期 60百万円( 8.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
27年3月期第2四半期	円 銭 △0.08	円 銭 —
26年3月期第2四半期	0.29	0.28

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
27年3月期第2四半期	百万円 12,171	百万円 3,279	% 25.7
26年3月期	11,547	3,329	27.8

(参考) 自己資本 27年3月期第2四半期 3,132百万円 26年3月期 3,205百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
26年3月期	円 銭 —	円 銭 0.18	円 銭 —	円 銭 0.18	円 銭 0.36
27年3月期	—	0.18			
27年3月期(予想)			—	0.18	0.36

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,510	0.0	279	5.4	195	26.6	39	115.0	0.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、 除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 有
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年3月期2Q	188,579,645株	26年3月期	188,566,645株
② 期末自己株式数	27年3月期2Q	818,453株	26年3月期	815,953株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年3月期2Q	187,755,491株	26年3月期2Q	185,133,521株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループにおきましては、食料品・生活雑貨小売事業部門及びカラオケ関係事業部門を中核として、引き続き経営基盤の強化に努めてまいりましたが、売上高は8,605百万円（前年同四半期比0.5%減）、営業利益は82百万円（前年同四半期比53.3%減）、経常利益は39百万円（前年同四半期比66.0%減）、四半期純損失は15百万円（前年同四半期は53百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

## ①食料品・生活雑貨小売事業

当事業部門は、総合100円ショップ「FLET'S」及び「百圓領事館」ならびに食品スーパー「Fマート」を運営しております。

当第2四半期連結累計期間における新規出店店舗は、次の11店舗であります。

オープン	店舗名称	所在地
平成26年4月2日	フレッツ神奈川新町店	横浜市神奈川区
平成26年4月16日	フレッツ有野店	神戸市北区
平成26年4月18日	百圓領事館ハイランド店	神奈川県横須賀市
平成26年4月25日	フレッツ甘木店	福岡県朝倉市
平成26年5月15日	フレッツサンディ西田辺店	大阪市阿倍野区
平成26年6月1日	フレッツ伊丹店	兵庫県伊丹市
平成26年7月11日	フレッツ四辻店	千葉県市原市
平成26年7月19日	フレッツ志津店	千葉県佐倉市
平成26年7月25日	フレッツ芝2丁目店	東京都港区
平成26年7月26日	百圓領事館安針塚店	神奈川県横須賀市
平成26年8月30日	フレッツ園田店	兵庫県尼崎市

なお、フレッツ池田店が契約期間の満了に伴い平成26年4月に、FC店のフレッツ伊丹店が平成26年5月に、百圓領事館春日部店が契約期間満了に伴う母店の閉店のため平成26年7月31日にそれぞれ閉店いたしました。

当第2四半期連結会計期間末日現在、「FLET'S」を直営店舗88店舗、FC店舗5店舗、「百圓領事館」を直営店舗32店舗、FC店舗2店舗、「Fマート」を直営店舗4店舗の合計131店舗を運営しております。

当連結会計年度におきましては今後も引き続き、フレッツ舎人店（東京都足立区、10月2日）、フレッツマルエイ姉崎店（千葉県市原市、11月7日）、フレッツトライアル筑後店（福岡県筑後市、11月中旬）、フレッツマルエイ新長洲店（熊本県玉名郡、11月下旬）、フレッツマルエイ六栄店（熊本県玉名郡、12月中旬）のオープンを予定しており、11月中旬にはFC店が1店舗オープンする予定です。

また、既存店におきましても、小規模のリニューアル工事や売場のレイアウト変更などを実施して飽きのこない売り場環境を整えてまいりました。当第2四半期連結累計期間においては、百圓領事館公園南店をフレッツ公園南店（大阪市東住吉区、6月12日）としてリニューアルオープンし、その他、フレッツ千里セルシー店（大阪府豊中市、7月2日）、フレッツあきるの店（東京都あきる野市、8月1日）、フレッツ喜連瓜破店（大阪府平野区、8月28日）、フレッツ八尾店（大阪府八尾市、9月20日）においてもリニューアルを実施いたしました。

店舗運営面におきましては、商品の粗利率の改善を進めるとともに、食料品と比較して粗利率の高い雑貨商品の構成比を大きくするなど、品揃えの見直しを計画的に進めてまいりました。

しかしながら、売上高は6,590百万円（前年同四半期比1.5%減）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同四半期比74.8%減）となりました。

## ②カラオケ関係事業

当事業部門は、業務用カラオケ機器及び周辺機器の賃貸、卸売事業を中核事業とし、業務用ゲーム機器賃貸等事業も含んでおります。

カラオケ事業におきましては、業務用カラオケメーカー2社より商品の供給を受けており、カラオケ機器の導入提案のみならず、カラオケ店出店候補物件の紹介や内装提案なども手がけることにより、得意先に対するワンストップサービスの実現を目指しております。そのため、不動産事業者、ビルオーナーならびにビル管理会社などに対する営業の強化などにも積極的に取り組んでおります。

また、前事業年度より、得意先が集中する大阪・北新地エリアにおける新たな事業展開として、酒類の即時配達サービスを行う「ヨルクル」をオープンいたしました。今後は既存得意先に対するサービス向上のみならず、新規得意先の獲得にも寄与するものとして事業を展開しております。

しかしながら、売上高は1,483百万円（前年同四半期比0.9%増）、セグメント利益（営業利益）は62百万円（前年同四半期比40.5%減）となりました。

### ③スポーツ事業

当事業部門は、スポーツクラブ「JOYFIT」および、ホットヨガスタジオ「LAVA」を運営しております。

当第2四半期連結累計期間におきましてはJOYFIT 24 寺田町（大阪市生野区、6月16日）をオープンいたしました。

当連結会計年度におきましては引き続き、JOYFIT 24 玉出（大阪市住之江区、10月27日）、JOYFIT 24 板宿（神戸市須磨区、1月中旬）のオープンを予定しております。

当事業部門におきましては、スタジオプログラムの質の向上と、自社スタッフのサービスレベルの向上に引き続き取り組んでおります。また、新規入会者を対象としたオリエンテーションを定期的を実施しており、入会後の定着率を高水準で維持しております。

しかしながら、売上高は269百万円（前年同四半期比5.7%増）、セグメント利益（営業利益）は25百万円（前年同四半期比37.4%減）となりました。

### ④IP事業

当事業部門は、店舗及び住宅の賃貸ならびにコインパーキング「T.O.P. 24h」の運営をしております。

当第2四半期連結累計期間における賃貸店舗、賃貸住宅の新規設置はなく、コインパーキング「T.O.P. 24h」の新規出店店舗は、次の13ヶ所122車室であります。

オープン	店舗名称	所在地	オープン	店舗名称	所在地
平成26年4月1日	上住吉②	大阪市住吉区	平成26年4月12日	浪速西①	大阪市浪速区
平成26年4月1日	天津橋①	大阪市西成区	平成26年4月12日	浪速西②	大阪市浪速区
平成26年4月9日	生江①	大阪市旭区	平成26年4月12日	浪速西③	大阪市浪速区
平成26年4月9日	生江②	大阪市旭区	平成26年4月14日	北畠①	大阪市阿倍野区
平成26年4月9日	生江③	大阪市旭区	平成26年6月3日	南久宝寺①	大阪市中央区
平成26年4月9日	高殿③	大阪市旭区	平成26年7月10日	高井田西①	大阪府東大阪市
平成26年4月12日	鶴見①	大阪市鶴見区	—	—	—

当第2四半期連結会計期間末日現在64ヶ所616車室のコインパーキングを運営しており、当連結会計年度におきましては、引き続きT.O.P. 24h 六甲道駅西①（神戸市灘区、11月1日）をオープンいたしました。

コインパーキング事業におきまして、近隣の競合状況や利用実績などを細かく分析することによりきめ細かな運営をした結果、当事業部門全体では、売上高は262百万円（前年同四半期比10.2%増）、セグメント損失（営業損失）は0百万円（前年同四半期1百万円の損失）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産総額は12,171百万円(前連結会計年度末比624百万円の増加)となりました。

流動資産は5,060百万円(前連結会計年度末比770百万円の増加)となりましたが、これは、主として現金及び預金が605百万円、商品及び製品が237百万円が増加したものの、受取手形及び売掛金が94百万円減少したことなどによります。

また、固定資産は7,090百万円(前連結会計年度末比140百万円の減少)となりましたが、これは、主として賃貸資産(純額)が41百万円増加したものの、差入保証金が70百万円、投資有価証券が52百万円、建設協力金が39百万円、建物及び構築物(純額)が31百万円減少したことなどによります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債総額は8,892百万円(前連結会計年度末比674百万円の増加)となりました。

流動負債は3,942百万円(前連結会計年度末比13百万円の増加)となりましたが、これは、主として、1年内償還予定の社債が79百万円、1年内返済予定の長期借入金が51百万円減少したものの、支払手形及び買掛金が83百万円、1年内支払予定の長期割賦未払金が26百万円増加したことなどによります。

また、固定負債は4,950百万円(前連結会計年度末比660百万円の増加)となりましたが、これは、主として長期借入金が362百万円、社債が225百万円、長期割賦未払金が49百万円増加したことなどによります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,279百万円(前連結会計年度末比49百万円の減少)となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績を踏まえ業績修正の見直しを行った結果、平成26年5月9日付の「平成26年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)」により公表いたしました平成27年3月期の業績予想を修正しております。

詳細につきましては、平成26年11月6日公表「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第2四半期連結会計期間より、当社が44.4%出資する株式会社ディーシェアの重要性が増加したため、持分法の適用の範囲に含めることとなりました。

なお、第1四半期連結会計期間より、当社が50.0%出資するジーン株式会社および株式会社PJの重要性が増加したため、当該会社を持分法の適用の範囲に含めております。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び連結子会社の建物及び構築物、賃貸資産(建物及び機械装置)以外の有形固定資産(リース資産を除く)の減価償却の方法については、従来、主として定率法を採用しておりましたが、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

当社グループでは、これまでの設備投資実績ならびに今後の設備投資計画をもとに、有形固定資産の償却方法を見直しました。この結果、有形固定資産が経年しても主たる経済的減価の要因である設備利用度と比例関係にある来店客数が維持されることが見込まれるため、今後は減価償却費を均等配分することがより適切であることから、第1四半期連結会計期間より定額法に変更しております。

この変更により、従来の方法に比べて、当第2四半期連結累計期間の売上総利益が8,356千円、営業利益、経常利益および税金等調整前四半期純利益がそれぞれ25,140千円増加しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,047,770	2,653,448
受取手形及び売掛金	512,471	418,284
商品及び製品	1,363,523	1,600,864
前払費用	178,585	202,019
繰延税金資産	39,760	55,963
その他	152,376	134,192
貸倒引当金	△4,550	△4,005
流動資産合計	4,289,938	5,060,767
固定資産		
有形固定資産		
貸貸資産(純額)	1,755,982	1,797,663
建物及び構築物(純額)	1,528,318	1,496,795
土地	881,217	881,217
その他(純額)	470,283	503,339
有形固定資産合計	4,635,802	4,679,015
無形固定資産		
のれん	436,056	427,519
その他	22,842	20,678
無形固定資産合計	458,899	448,197
投資その他の資産		
投資有価証券	125,800	73,359
建設協力金	595,916	556,749
差入保証金	1,155,729	1,085,174
繰延税金資産	91,204	82,139
その他	174,764	173,338
貸倒引当金	△7,131	△7,681
投資その他の資産合計	2,136,282	1,963,080
固定資産合計	7,230,984	7,090,293
繰延資産	26,347	20,918
資産合計	11,547,270	12,171,979



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成26年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,452,608	1,536,345
1年内返済予定の長期借入金	1,265,756	1,213,780
1年内償還予定の社債	579,500	500,000
1年内支払予定の長期割賦未払金	276,466	303,365
未払法人税等	34,691	39,450
資産除去債務	1,100	5,000
その他	318,129	344,283
流動負債合計	3,928,252	3,942,224
固定負債		
社債	345,000	570,000
長期借入金	2,858,991	3,221,294
長期割賦未払金	627,721	677,430
役員退職慰労引当金	66,182	77,212
退職給付に係る負債	93,394	101,356
資産除去債務	76,454	77,182
その他	221,620	225,585
固定負債合計	4,289,363	4,950,061
負債合計	8,217,616	8,892,286
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,487,479	1,487,627
資本剰余金	1,529,785	1,529,934
利益剰余金	202,752	153,474
自己株式	△38,795	△38,897
株主資本合計	3,181,221	3,132,139
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	24,640	—
その他の包括利益累計額合計	24,640	—
新株予約権	70,901	95,323
少数株主持分	52,890	52,230
純資産合計	3,329,653	3,279,693
負債純資産合計	11,547,270	12,171,979

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
売上高	8,650,751	8,605,305
売上原価	5,829,569	5,734,233
売上総利益	2,821,182	2,871,071
販売費及び一般管理費	2,645,119	2,788,831
営業利益	176,062	82,239
営業外収益		
受取利息	10,511	8,683
受取配当金	680	680
受取保険金	282	3,478
その他	2,304	2,273
営業外収益合計	13,777	15,114
営業外費用		
支払利息	36,182	33,197
支払保証料	11,097	6,577
持分法による投資損失	—	640
社債発行費償却	15,897	10,557
その他	11,274	7,201
営業外費用合計	74,451	58,174
経常利益	115,389	39,179
特別利益		
持分変動利益	13,278	—
投資有価証券売却益	—	36,675
その他	89	40
特別利益合計	13,367	36,715
特別損失		
事務所移転費用	—	5,000
店舗閉鎖損失	2,580	42,807
その他	—	24
特別損失合計	2,580	47,831
税金等調整前四半期純利益	126,176	28,063
法人税、住民税及び事業税	27,729	37,696
法人税等調整額	40,898	6,509
法人税等合計	68,628	44,206
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	57,548	△16,142
少数株主利益又は少数株主損失(△)	4,047	△660
四半期純利益又は四半期純損失(△)	53,500	△15,482

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	57,548	△16,142
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,973	△24,640
その他の包括利益合計	2,973	△24,640
四半期包括利益	60,521	△40,783
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	56,474	△40,123
少数株主に係る四半期包括利益	4,047	△660

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。